

## ドイツ国家安全保障戦略（2023年6月）

### ▶シュルツ首相による序文

- ・安全保障は国家の最重要任務であり、欧州秩序はロシアの侵略で根底から揺らいだ。
  - －安全なくして自由・繁栄はない。
- ・ドイツの強み
  - －民主主義、活発な市民社会、強い経済、価値を共有する同盟国。
- ・脅威認識
  - －ロシアの侵略　－多極化　－気候変動
- ・政策転換
  - －国防軍の装備強化　－ロシア産エネルギー依存からの脱却
- ・広義の安全保障
  - －エネルギー・原材料の確保　－災害・サイバー・偽情報への備え
- ・国家安全保障戦略の目的
  - －市民の安全　－欧州安全保障への貢献

### ▶ベアボック外相による序文

- ・安全保障は軍事だけでなく、生活・経済・民主主義・気候を含む総合概念。
- ・脆弱性の自覚
  - －パンデミック、サイバー攻撃、偽情報、気候災害。
- ・総合安全保障（Integrated Security）の必要性
  - －生活のあらゆる領域に安全保障を統合。例：暖房、医薬品、半導体、鉄道の安全。
- ・3つの安全保障次元
  - －Robust：　軍事防衛
  - －Resilient：　自由・民主主義・経済の強靱性
  - －Sustainable：気候・資源の保護
- ・フェミニスト外交の要素
  - －女性・弱者が危機で最も被害を受ける
  - －個人の安全保障を中心に据える

### ▶1. ドイツの安全保障

- ・歴史的責任
  - －第二次大戦とホロコーストの罪責　－欧州との和解　－イスラエルの生存権の擁護
- ・国際的役割
  - －欧州最大の経済・人口　－世界第2位の援助国　－国連など国際機関で積極的役割

- ・欧州統合と大西洋同盟
  - －欧州統合と NATO は安全保障の基盤
  - －中東欧の民主化が独再統一を可能にした

## ➤2. ドイツが尊重する価値と国益

- ・価値
  - －人間の尊厳、民主主義、法の支配、人権、表現・報道・宗教の自由、男女平等
- ・国益
  - －社会市場経済の保護、国際法に基づく秩序の維持、ドイツ・EU・同盟国の主権と領土保全
  - 自由民主主義体制の保護、EU の結束とフランスとの協力、米国との信頼関係
  - 世界の平和・民主主義・人間開発、気候危機対策・資源保護、開かれた国際経済システムの維持

## ➤3. 安全保障環境

- ・ロシア（最大の脅威）
  - －欧州安全保障秩序の破壊
  - －核の威嚇
  - －民主主義への干渉
  - －エネルギーの武器化
- ・中国（パートナー・競争相手・ライバル）
  - －国際秩序の再構築
  - －地域覇権の追求
  - －経済力の政治利用
  - －ただし協力不可欠な分野も多い
- ・地域紛争
  - －シリア、イラク、リビア、サヘル
  - －非国家武装勢力の台頭
  - －外部勢力の影響拡大
- ・非軍事脅威
  - －テロ・極端主義
  - －サイバー攻撃
  - －組織犯罪
  - －経済依存
  - －気候危機
  - －移民・難民の流動

## ➤ I. Robust－防衛と抑止の強化

### 1. 基本原則

- －国家防衛と集団防衛は不可分
- －NATO が安全保障の基盤
- －ドイツは欧州の中心として特別な責任を負う
- －国防軍は「議会軍」であり、民主的統制下にある

### 2. NATO と欧州防衛の位置づけ

- ・NATO の役割
  - －欧州・大西洋地域の主要な安全保障枠組み
  - －核・通常戦力・サイバー・宇宙を含む抑止体系
  - －第5条（集団防衛）への揺るぎないコミットメント
- ・欧州防衛の強化
  - －欧州の「戦略的自律性」を高める
  - －欧州防衛産業の統合・共同開発（例：FCAS、MGCS）
  - －武器輸出規制は維持しつつ、欧州協力を阻害しない枠組みへ調整

### 3. 国防軍の改革

- ・能力ギャップの解消
  - －特別基金（1000 億ユーロ）による装備更新
  - －弾薬備蓄、指揮統制、機動力、空輸能力の強化
  - －即応性の向上（NATO VJTF など）
- ・核共有（Nuclear Sharing）
  - －二重能力機（Dual-Capable Aircraft）を継続提供
  - －核抑止の信頼性を維持

### 4. 同盟国領域でのプレゼンス強化

- ・バルト三国・スロバキアなどでの前方展開
- ・ドイツが「フレームワーク・ネーション」として部隊を統率
- ・軍事機動性（Military Mobility）の改善
  - －交通インフラ
  - －法的枠組み
  - －兵站支援能力

### 5. サイバー・宇宙領域の防衛

- ・サイバー
  - －攻撃の増加に対応するため、国家サイバー防衛を強化
  - －攻撃者の特定が困難なため、国際協力が不可欠
- ・宇宙
  - －衛星通信・測位・偵察は国家機能の基盤
  - －宇宙状況監視（SSA）能力の拡大
  - －国際的な宇宙規範の形成に貢献

### 6. 民生防衛（Civil Preparedness）

- ・目的
  - －国家機能の維持
  - －住民保護
  - －国防軍への後方支援
- ・重点領域
  - －災害対策（洪水・パンデミック・停電）
  - －重要インフラ保護（電力・通信・医療・物流）
  - －CBRN（化学・生物・放射線・核）対策
  - －ボランティア・自治体・民間企業の役割強化
  - －LÜKEX（全国危機管理演習）の拡充

## ▶ II. 強靱性－民主主義・経済・技術の保護

### 1. 民主主義の防衛

- ・外国の干渉・偽情報・極端主義から自由民主主義を守る
- ・人権外交・法の支配・多国間主義を推進
- ・フェミニスト外交の要素（女性・弱者の保護）

### 2. 経済安全保障

- ・一国依存のリスク解消
  - －エネルギー（ロシア依存の教訓）
  - －医薬品
  - －半導体
  - －重要原材料（レアアースなど）
- ・サプライチェーンの多角化
  - －アジア・アフリカ・南米との新パートナーシップ
  - －EU 内部市場の強化
- ・経済の開放性と安全保障の両立
  - －投資審査の強化（特に重要インフラ）
  - －経済的威圧（economic coercion）への対抗

### 3. 技術・デジタル主権

- ・科学研究・産業イノベーションの国家支援
- ・技術流出・スパイ活動の防止
- ・AI・量子技術・通信技術の保護
- ・デジタル基盤の強靱化

### 4. サイバーセキュリティ

- ・国家サイバー防衛の刷新
- ・攻撃者の特定困難性を踏まえた国際協力
- ・重要インフラのサイバー防御強化

### 5. 宇宙安全保障

- ・宇宙空間の自由利用を確保
- ・SSA（宇宙状況監視）能力の拡大
- ・国際規範形成への貢献

### ▶Ⅲ. 持続可能性－気候・食料・健康の安全保障

#### 1. 気候危機の安全保障化

- ・気候危機は「21世紀最大の安全保障上の脅威」
- ・排出削減と気候適応を同時に推進
- ・生態系・生物多様性の保全を国家戦略に統合
- ・気候危機は紛争・移住・飢餓を増加させる

#### 2. 食料安全保障

- ・持続可能な農業・食料システムへの移行
- ・脆弱層への支援
- ・公正な貿易と人権基準の遵守
- ・食料供給網の強靭化

#### 3. 健康安全保障（One Health）

- ・パンデミック対策の強化
- ・医療供給網の強靭化（医薬品備蓄・国内生産）
- ・人間・動物・環境を統合する「One Health」アプローチ
- ・早期警戒システムの強化
- ・国際協力（WHO・G7・G20）